



# 「歩道空間オープンテラス社会実験」 を実施中です

群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム

## ■ 群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチームについて

令和元年度から、部局横断的な有志職員で構成される「群馬県庁官民連携プロジェクトチーム(以下、「PJチーム」)」を立ち上げ、民間の自発的な公共空間の利活用を誘導する「仕組みづくり」を始めました。昨年度は、桐生市内の県道を活用したマルシェ(社会実験)を開催し、実際の活用にあたっての課題整理やニーズ調査を実施しました(「おっ!!まちい〜(Vol.115)」で紹介していますので、ご覧ください)。今年度も予定していた事業等がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、人が集まるような事業は、見直さなくてはいけなくなりました。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の支援及び“Withコロナ時代の新しい生活様式に対応したまちづくり”や“まちなかの暮らしを安心して楽しめる環境づくり”の実証を目的とした「歩道空間オープンテラス社会実験」を開始しました。



モリムラ珈琲店(桐生市)



おもひで横丁 なつかしや(太田市)

## ■ 事業概要

1. 実施期間 7/7(火)~11/30(月)
2. 対象者 商店街組合等の団体、飲食店等  
(1店舗単独で応募可能)  
※ただし、1店舗の場合は、自店舗前の活用を原則とする。
3. 対象路線 県管理道路において、占用後に2.0m以上の歩行空間を確保することが可能な区間。  
※歩行者が多い箇所は、3.5m以上の確保が必要。
4. 応募方法 社会実験用のWEB応募フォームから応募

## ■ 実施状況

社会実験の募集を開始したところ、4店舗と1団体(4店舗)の応募があり、11月末まで実施しています。PJチームは、応募を確認すると申請者とオンライン等による打合せを行い、道路占用許可(窓口:土木事務所)及び道路使用許可(窓口:警察署)の申請書の作成や申請手続き等の支援を行います。申請者にとって、行政手続きは何かが必要か分からないため、公共空間活用の大きな壁となっています。今回、申請手続き等の支援したことにより、応募からテラス営業まで2~3週間で行うことができました。

また、申請する際は、歩行者が多い通学時間帯を避けることや点字ブロックの必要幅を確保することなど、歩行者の安全を第一に考えた配置を考える必要があります。

## ■ 社会実験を通して

申請者の方の話を聞くと、今回の新型コロナウイルス感染症の流行により、大きな影響を受けており、現状をどうにかしたい!という強い気持ちが伝わってきました。この社会実験が、新しい生活様式に対応した営業形態の“きっかけ”となり、“まちなかの暮らしを安心して楽しめる環境づくり”につながることを期待しています。PJチームでは、今後も公共空間が楽しめる空間となるように事業制度の策定などを進めていきたいと思っております。

読者の皆さんも、感染症対策を十分に行い、新しい日常を楽しみましょう♪



PLUS+アンカー(桐生市)



居酒屋左門(桐生市)



新前橋商工会(前橋市)